

取手の新しい盆踊り！？ 「マルトノ音頭」 取手井野団地夏祭りにて

TAP2006 のゲスト・プロデューサーの作曲家・野村誠を中心とした 15 組の参加者による ACD (あーだ・こーだ・けーだ) プロジェクトの中で生まれた「マルトノ音頭」は ACD メンバーが実際に取手に滞在しながら作詞・作曲し、振り付けを考えた取手を題材とした盆踊りです。

「マルトノ音頭」はオンド・マルトノというシンセサイザーの原点にもなった電子楽器の名前から発想し、TAP2006 のイベント「あーだ・こーだ・けーだパーティー」で披露された。今回は TAP2008 のメイン会場である取手井野団地の井野団地夏祭りで盆踊りの一曲として参加する*。ACD メンバーであり、「マルトノ音頭」の作曲者である山中カメラは TAP2008 の韓国との国際交流事業の TAP 選出アーティストであり、8 月から韓国に滞在、10 月からは井野団地に滞在し、盆踊りのような地域コミュニティーを生むものを題材に作品を制作する予定。

現在、7 月 22 日より 3 日間、団地の集会所で行われる盆踊りの練習会で、団地住民に山中カメラ自身が「マルトノ音頭」の振り付けを教え、7 月 26・27 日の 18 時から団地住民と一緒に踊る。このプロジェクトの中心の山中カメラは夏祭り当日、やぐらの上からマイクを持ちマルトノ音頭を歌う予定。ACD のメンバーも参加する。取手アートプロジェクトのスタッフは祭り当日ブースを設けても参加。

* 今回はオンド・マルトノの生演奏は行いません。

＜第 34 回取手井野団地 夏祭り＞

日程 7 月 26 日（土）・27 日（日）

時間 午前 9 時～（盆踊り大会は 26 日は 18 時～、27 日は 18 時 30 分～）

主催 ふれあい夏祭り実行委員会（取手井野団地自治会）

山中カメラ（特殊写真家）

1978 年山口県生まれ。特殊写真家・パフォーマー。村上隆の GEISAI6 にて「銀賞」受賞（2004）。とう魔とうじ主宰「フロント」所属。自作の写真、映像、歌が融合した独自の「カメラショー」をライブ形式で展開。撮影行為 자체をパフォーマンス作品とした「一人合唱」で NHK デジタルスタジアム、デジタルアートフェスティバル東京（2007）出演。またカメラを使って握る「カメラ寿司」などのパフォーマンス。自作の写真装置「オッパイカメラシステム～恥部写」を使った撮影パフォーマンス。取手アートプロジェクト（2006）では、オンド・マルトノを使った「マルトノ音頭」作曲、振り付け。横浜 BankART では 7 日間に渡り行なわれた「W あつしの大運動会」（2007）をプロデュースするなど、活動の範囲は多岐に渡る。



本件に関するお問い合わせ

取手アートプロジェクト実施本部

〒302-0024 茨城県取手市新町 2-3-16 TEL/FAX : 0297-72-0177 (OPEN: 火・金 13:00 ~ 17:00)

E-mail : tap-info@ima.fa.geidai.ac.jp Web : <http://www.toride-ap.gr.jp>

担当：中山亜美（080-5544-6597）

「マルトノ音頭 ～Martenot Ondes～」

作詞：Wあつし（山中カメラ・宮田篤）

作曲：山中カメラ

編曲：長津結一郎、山中カメラ

英語訳：金子千恵

演奏：山中カメラ、宮田篤、長津結一郎、植田裕子、五十殿彩子、江渕未帆、森本隆彦、
むつき、金子千恵、芝山祐美

電子楽器の元祖であるオンド・マルトノのオンド（Ondes）が日本語で音頭（ondo）と同じ発音である事から、語句を入れ替え「オンド・マルトノ」で奏でる「マルトノ音頭」とする馴染みにより山中カメラが発案。

プロのオンド・マルトノ奏者、久保智美を迎え、取手アートプロジェクト2006において、作曲家の野村誠をはじめとする「あーだ・こーだ・けーだ」メンバー※により初演された。独自の振り付けと音頭は観客をも巻き込み、会場となった取手市福祉会館には、和太鼓を囲んで、二重の踊りの輪が出現した。

※「あーだ・こーだ・けーだ」とは

作曲家、野村誠と彼が「取手アートプロジェクト」で選出した17組26名の参加者、そして野村のプロジェクトを担当したTAPスタッフによるコラボレーションの実験プロジェクト。



「マルトノ音頭 ～Martenot Ondes～」歌詞

一、

関東平野というわりに
どこへ行くにも坂道上る

近いっちや近いよ上野まで
買ってもいいかもマイホーム取手～

ベットタウンと人は呼ぶ
起きていたって街は寝る
水戸や筑波よりや都心に近い

(でも) 電車知らんと成田行き
マルトノ、マルトノ、○トの音頭

二、

マルトノ博士がこしらえた
世にも奇妙な楽器です

レディオヘッドもメシアンも
好んで使う通の音ハア～

変な形のスピーカー、パルム、プランシバル、メタリック
出来てだいたい一世紀

(トウッシュ) あんまり無いよ日本には
マルトノ、マルトノ、○トの音頭

三、

今日は皆さんありがとう
こんな時間まで物好きね

あーだ、こーだと言いながら

すてきな歌になりましたハア～

取手が好きになりました、常磐線にも馴れました
(でも) 福祉会館まだ迷う

(サアサ皆さん手に手を取って)
マルトノ、マルトノ、○トの音頭
マルトノ、マルトノ、○トの音頭
マルトノ、マルトノ、○トの音頭
取手の、取手の、マルトノ音頭

(英語バージョン)

1.

Even in the Kanto plane, I must say
So many slopes I have to walk up everywhere
Not so far away to Ueno
I might buy my-home, Toride.

People call it "Bed town"
During the daytime town is sleeping
It's closer to Tokyo than Mito or Tsukuba,

But! I'll take the train to Narita if you don't be careful
Martonot Martonot Martonot Matronot Ondo

2.

It was invented by Dr. Martonot
As you can see, it's unusual instrument
Radio Head and Mesian(?), too
Like it very much and played it in their tune, haaaa

They are three strange speakers
Palm, Principal and Meralic
It's almost one century since appeared

It is very rare in Japan
Martonot Martonot Martonot Ondo

3.
Ladies and gentlemen, thank you very much
Being with us such a long time
Saying Ada-Koda everyday
It ended up with such a lovely song haaaa

Toride, Toride home sweet home
Now I know all about the Joban Line
Though I still get lost to the Social Welfare building

Come on everybody! hand in hand
Martonot Martonot Martonot Ondo
Toride, oh, Toride, oh, Martonot Ondo